

4月26日
日立市議選

戦後70年、今回の市議選で問われる

「二つの争点と二つの選択」

「介護保険の値上げと年金が下げられ大変」「将来が不安、非正規社員なので」。率直な市民の声です。4月26日投票の市議選は市民の命と暮らしがかかった重大な選挙です。

安倍内閣の暴走に「待った」をかける

■「戦争立法」ストップ

アメリカが起すあらゆる戦争に参戦する「戦争立法」の中身を国民に語らず、5月の連休にアメリカに訪問する安倍首相。今、国会を延長してでも一気に通そうとしています。また、「戦争放棄」をつたった憲法9条にも手をつけようとしています。

■消費税10%増税はキツパリ中止を

「8%になり大変で、生命保険をやめ買物も減らしている」と多くの市民が苦しさを実感しています。政府は、「景気の動向にかかわりなく、2017年4月には10%へ増税する」と断言。生活破壊の10%増税はキツパリ中止すべきです。

■原発再稼働反対！東海第二原発は廃炉に

地震大国の日本に原発が必要なのでしょうか。東海第二原発は36年が経過した老朽原発。30キロ圏内には96万人が住んでいます。避難は不可能です。

■「残業代ゼロ制度」の断念を

どれだけ働いても残業代を払わなくていい―「高度プロフェッショナル制度」を導入しようとする安倍内閣。今でも「過労死ライン」(月80時間)を超える長時間労働をすすめる大企業に、こんな法律をあたえたり、いよいよ長時間労働に歯止めがかかりません。

争点②

国の悪政から市民の暮らしを守る防波堤の役割
県内一のためこみ金240億円は、もつとくらくらに

合併して人件費と住民サービスを削減して、240億円余の県内一の基金がため込まれています(表参照)

- 国保税の一世帯一百万円の引き下げ
- 子どもの医療費助成を高校卒業まで
- 介護保険料、利用料の値上げストップ
- 住宅リフォーム助成の実現
- こぎわいのある街づくり

県内主要4市 のためこみ金

(財政調整基金・減債基金・
目的基金の合計)

日立市	240億円
水戸市	124億円
ひたちなか市	167億円
つくば市	108億円

(2013年決算)

*ためこみ金は、市民の命
や暮らしを守るために使
うのがスジです。

選択

国にも県にも大企業にもハッキリ物を言う議員が必要です

一人ひとりが大切にされる

市政へ全力をつくします



日本共産党・市議会議員

小林まみ子



民報日立

2015年4月号外 発行/日本共産党日立市委員会 日立市石名坂町1525-21 電話0294(53)8501 Fax(53)8502 共産党の見解をお知らせします。

小林まみ子事務所/日立市弁天町3-4-19 電話0294(26)0278 Fax(26)0277 メールアドレス kobayasi.m.zimusyo@gmail.com

募金にご協力ください
日本共産党

みんなの願い、まっすぐ市政に届けます **日本共産党**



3月15日の演説会＝右から小林まみ子市議、大門みきし参院議員、おおそね勝正元市議

1世帯当たりの一般会計からの繰入額	
日立市	2,092円
水戸市	2万6,052円
ひたちなか市	2万4,942円
常陸太田市	2万4,128円
高萩市	2万8,963円

他市並に繰入れて 国保料、1世帯 1万円の引下げ

高すぎて「払いたくても払えない」と悲鳴があがる国保料。各自治体では、市の一般会計から繰入れて住民の負担を軽減しています。

ところが日立市の繰入額は、信じられないほどの「すすめの涙」の少額。

日本共産党は他市並みに繰入れて、1世帯当たり1万円の引下げを実現します。

日本共産党の提案

原発 再稼働ストップ 最大の力は、 日本共産党の2議席

東海第二原発から全域が30キロ圏内に入る日立市。全市民が避難対象です。アンケートでも68%の市民が再稼働反対・廃炉を望んでいます。ところが市議会は、9回提出された「再稼働ストップ」の陳情・請願をすべて不採択。一貫して採択を主張したのは日本共産党の小林まみ子市議ただ一人です。

現在、「原発ゼロ」の世論が高まるなかで、数名の市議が再稼働反対の立場をとりはじめています。

ぶれない日本共産党の2議席実現こそ、市議会で「再稼働ストップ・廃炉へ」の流れを、さらに大きく広げる力です。

特養ホームの待機者 400人 民間まかせでなく 解決を



「もっと安い金額で入居できる老人ホームを建ててほしい」。アンケートに寄せられた声です。

日立市の特養老人ホームの待機者は現在約400人で、解決が急がれています。ところが市は、萬春園、かねはた老人ホームなどの施設を民間に払い下げる計画です。

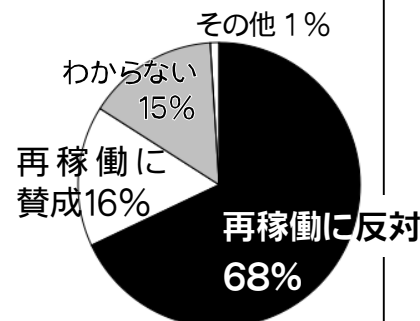
日本共産党は、市が責任をもって施設を整備、増設して待機者の解消をはかるよう求めています。

年金・国保・介護

- 国民年金生活者なので、これ以上の支出はできない。食事を3食から2食にするしかない。
- 給料が安い、年金も下がり、退職金も減り、払いたくても払えない。
- 「年寄り早く死んでね」というシステムです。あきれています。

東海第二原発

- 6キロ圏内に住んでいる。避難計画も不十分。福島を考えると、明日はわが身・・・とても不安。
- 原発から自然エネルギーへの転換。日製に遠慮するな。市は廃炉を主張すべき。
- 福島原発が収束していない。安全の保証も不透明な中での再稼働は危険。
- 福島と東海に挟まれて、事故が起これば日立は終わり。



(アンケート集計結果)

暮らし

- 38年間、厚生年金を積んでも月11万円の年金。死ぬまで仕事するしかない。
- 主人の会社ではボーナスなし。残業手当なし。家を建てたくてもローンは組めない。
- 今は貯金があるが毎月赤字。5年10年先が心配。長生きするものではないですね。

もっとも力を 入れてほしいこと

- 立派な体育館や庁舎を作れるお金があるなら、高齢者や障害者が安心して生活できる市政であってほしい。
- 福祉が最低。日本で一番下の下。弱い立場の人を理解してほしい。
- 公共料金が安く、国保・介護料の引下げ、雇用を増やして、安心して子育てできる暮らしやすい日立を望みます。

市民アンケート…切実な声がぎゅっしり

日本共産党日立市委員会が実施した「暮らしと市政アンケート」に書き込まれた声の一部を紹介します。

